

資料 分析結果(周縁地下水 その1)

周 縁 地 下 水													
調査地点	No. 1					No. 9							
採取日	H23. 7. 28	H23. 10. 11	H23. 12. 16	H24. 2. 27	年間平均値	H23. 7. 28	H23. 10. 11	H23. 12. 16	H24. 2. 27	年間平均値			
現場測定項目													
気温 (°C)	29.0	21.0	7.0	4.0		26.0	21.0	6.0	6.0				
水温 (°C)	21.4	21.0	20.1	19.4		23.3	21.5	21.1	22.8				
採水水深 (m) (GLより)	10.64	10.54	10.53	10.52		21.30	21.30	21.30	21.30				
分析結果												*安定型最終処分場の周縁地下水の基準	地下水環境基準
分析項目	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析			
pH	6.5	6.4	6.5	6.3	6.4	6.8	6.7	6.7	6.8	6.8	-	-	
BOD (mg/L)	1.5	1.6	2.8	1.5	1.9	2.8	1.2	1.9	1.2	1.8	20mg/L	-	
COD (mg/L)	17	16	15	14	16	16	13	24	13	17	40mg/L	-	
SS (mg/L)	120	98	160	50	110	42	9.4	16	8.3	19	-	-	
亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素 (mg/L)	-	<0.01	-	-	0.01	-	<0.01	-	-	0.01	-	10mg/L	
カドミウム (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.01mg/L	0.003mg/L	
鉛 (mg/L)	<0.005	0.005	<0.005	0.006	0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	0.01mg/L	0.01mg/L	
六価クロム (mg/L)	-	<0.02	-	-	0.02	-	<0.02	-	-	0.02	0.05mg/L	0.05mg/L	
ぼう素 (mg/L)	1.4	1.4	1.3	1.3	1.4	1.2	1.2	2.2	1.2	1.5	-	1mg/L	
全シアン (mg/L)	-	<0.1	-	-	<0.1	-	<0.1	-	-	<0.1	検出されないこと (<0.1mg/L)	検出されないこと (<0.1mg/L)	
ふっ素 (mg/L)	<0.08	0.08	0.14	0.10	0.10	0.15	0.21	0.24	0.22	0.21	-	0.8mg/L	
ひ素 (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	0.013	0.014	0.012	0.013	0.013	0.01mg/L	0.01mg/L	
セレン (mg/L)	-	<0.002	-	-	0.002	-	<0.002	-	-	0.002	0.01mg/L	0.01mg/L	
総水銀 (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	0.0005mg/L	0.0005mg/L	
アルキル水銀 (mg/L)	-	<0.0005	-	-	<0.0005	-	<0.0005	-	-	<0.0005	検出されないこと (<0.0005mg/L)	検出されないこと (<0.0005mg/L)	
PCB (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと (<0.0005mg/L)	検出されないこと (<0.0005mg/L)	
トリクロロエレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	0.03mg/L	0.03mg/L	
テトラクロロエレン (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	0.01mg/L	0.01mg/L	
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	-	<0.002	-	-	0.002	-	<0.002	-	-	0.002	1mg/L	1mg/L	
四塩化炭素 (mg/L)	-	<0.0002	-	-	0.0002	-	<0.0002	-	-	0.0002	0.002mg/L	0.002mg/L	
ジクロロメタン (mg/L)	-	<0.002	-	-	0.002	-	<0.002	-	-	0.002	0.02mg/L	0.02mg/L	
1,2-ジクロロエタン (mg/L)	-	<0.0004	-	-	0.0004	-	<0.0004	-	-	0.0004	0.004mg/L	0.004mg/L	
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	-	<0.0006	-	-	0.0006	-	<0.0006	-	-	0.0006	0.006mg/L	0.006mg/L	
1,1-ジクロロエレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	0.02mg/L	0.1mg/L	
1,2-ジクロロエレン (mg/L)	0.042	0.035	0.028	0.028	0.033	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.004	-	0.04mg/L	
1,3-ジクロロプロパン (mg/L)	-	<0.0002	-	-	0.0002	-	<0.0002	-	-	0.0002	0.002mg/L	0.002mg/L	
ベンゼン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.01mg/L	0.01mg/L	
塩化ビニルモノマー (mg/L)	0.0048	0.0068	0.0058	0.0085	0.0065	0.0002	0.0003	0.0007	0.0003	0.0004	-	0.002mg/L	
1,4-ジオキサン (mg/L)	0.085	0.16	0.069	0.054	0.092	0.035	0.049	0.076	0.013	0.043	-	0.05mg/L	
鉄 (mg/L)	24	26	25	29	26	3.4	2.7	2.3	2.9	2.8	-	-	
マンガン (mg/L)	2.4	2.8	2.4	2.2	2.5	3.8	4.7	2.6	4.4	3.9	-	-	
トリス-1,2-ジクロロエレン (mg/L)	0.040	0.033	0.026	0.026	0.031	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	0.04mg/L	-	
トリス-1,2-ジクロロエレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	-	-	
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	0.24	0.14	0.58	0.15	0.28	0.065	0.032	0.040	0.032	0.042	1pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L	
(参考) EC (mS/m)	140	130	130	130	130	180	170	160	180	170	-	-	

* pg : mgの十億分の1 (1pg=1,000,000,000分の1mg)

* TEQ : 毒性等量であることをいう。ダイオキシン類には多くの異性体が存在しており、その毒性は異なっている。このため、異性体が混合しているダイオキシン類の毒性の強さを評価する上で、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDD(テトラクロロジベンゾダイオキシン)に換算した数値。

* 採水方法 : 井戸孔内に長期間滞留した水を置換することを目的として、水中ポンプで井戸の孔内水量の4倍程度汲み上げた後、水質(水温、pH、電気伝導度等)が安定したことを確認してからポンプにて必要量を採取した。

* 分析方法 : 試料をろ過せず、採取時の濁りとともに全量を分析。なお、平成22年度まではベラーで採水を実施していたが、採水時に孔内水が乱れることで井戸の底等に堆積した土壌粒子等が巻き上げられ、採水試料に混入することが避けられなかったため、0.45μmメンブランフィルターによるろ過を行い、そのろ液の分析結果を併せて掲載していたが、平成23年度より水中ポンプで採水を実施することで、土壌粒子等の混入を改善することができるようになったことから全量分析結果のみを掲載している。

* 年間平均値 : 環境基準値に対する評価方法に基づき、検出値が定量下限値未満の場合は定量下限値として扱い、年平均値を求めている。 pH、BOD、COD、SS、鉄、マンガン、ECは参考値。

なお、全シアンとアルキル水銀、PCBの年間平均値欄の値は、全シアンが基準値が最高値により評価されること、アルキル水銀とPCBについては「検出されないこと」をもって基準達成となるため、それぞれ該当する値を表記し、評価した。

資料 分析結果(周縁地下水 その2)

周 縁 地 下 水													
調査地点	No. 1-1					No. 3-1							
採取日	H23. 7. 28	H23. 10. 11	H23. 12. 16	H24. 2. 27	年間平均値	H23. 7. 28	H23. 10. 11	H23. 12. 16	H24. 2. 27	年間平均値			
現場測定項目													
気温 (°C)	27.0	21.0	6.5	4.5		27.0	15.0	6.0	3.0				
水温 (°C)	17.9	18.0	16.6	15.4		23.9	23.3	22.0	22.3				
採水水深 (m) (GLより)	13.27	13.43	13.65	13.94		12.80	12.80	12.80	13.06				
分析結果												*安定型最終処分場の周縁地下水の基準	地下水環境基準
分析項目	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析			
pH	6.1	6.1	6.1	6.2	6.1	7.3	7.2	7.1	7.2	7.2	-	-	
BOD (mg/L)	<0.5	0.6	<0.5	0.5	0.5	2.9	2.8	3.3	2.5	2.9	20mg/L	-	
COD (mg/L)	1.7	0.9	1.1	1.0	1.2	29	26	24	22	25	40mg/L	-	
SS (mg/L)	15	2.6	2.6	4.2	6	18	16	13	13	15	-	-	
亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素 (mg/L)	-	0.38	-	-	0.38	-	0.02	-	-	0.02	-	10mg/L	
カドミウム (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.01mg/L	0.003mg/L	
鉛 (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	0.01mg/L	0.01mg/L	
六価クロム (mg/L)	-	<0.02	-	-	0.02	-	<0.02	-	-	0.02	0.05mg/L	0.05mg/L	
ぼう素 (mg/L)	<0.1	0.1	<0.1	0.1	0.1	1.6	1.8	1.7	1.7	1.7	-	1mg/L	
全シアン (mg/L)	-	<0.1	-	-	<0.1	-	<0.1	-	-	<0.1	検出されないこと (<0.1mg/L)	検出されないこと (<0.1mg/L)	
ふっ素 (mg/L)	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.08	0.41	0.52	0.59	0.57	0.52	-	0.8mg/L	
ひ素 (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	0.034	0.029	0.025	0.026	0.029	0.01mg/L	0.01mg/L	
セレン (mg/L)	-	<0.002	-	-	0.002	-	<0.002	-	-	0.002	0.01mg/L	0.01mg/L	
総水銀 (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	0.0005mg/L	0.0005mg/L	
アルキル水銀 (mg/L)	-	<0.0005	-	-	<0.0005	-	<0.0005	-	-	<0.0005	検出されないこと (<0.0005mg/L)	検出されないこと (<0.0005mg/L)	
PCB (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと (<0.0005mg/L)	検出されないこと (<0.0005mg/L)	
トリクロロエレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	0.03mg/L	0.03mg/L	
テトラクロロエレン (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	0.01mg/L	0.01mg/L	
1,1-トリクロロエタン (mg/L)	-	<0.002	-	-	0.002	-	<0.002	-	-	0.002	1mg/L	1mg/L	
四塩化炭素 (mg/L)	-	<0.0002	-	-	0.0002	-	<0.0002	-	-	0.0002	0.002mg/L	0.002mg/L	
ジクロロメタン (mg/L)	-	<0.002	-	-	0.002	-	<0.002	-	-	0.002	0.02mg/L	0.02mg/L	
1,2-ジクロロエタン (mg/L)	-	<0.0004	-	-	0.0004	-	<0.0004	-	-	0.0004	0.004mg/L	0.004mg/L	
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	-	<0.0006	-	-	0.0006	-	<0.0006	-	-	0.0006	0.006mg/L	0.006mg/L	
1,1-ジクロロエレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	0.02mg/L	0.1mg/L	
1,2-ジクロロエレン (mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.004	-	0.04mg/L	
1,3-ジクロロプロパン (mg/L)	-	<0.0002	-	-	0.0002	-	<0.0002	-	-	0.0002	0.002mg/L	0.002mg/L	
ベンゼン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.01mg/L	0.01mg/L	
塩化ビニルモノマー (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0002	0.0004	0.0004	0.0004	0.0002	0.0004	-	0.002mg/L	
1,4-ジオキサン (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	0.083	0.12	0.055	0.046	0.076	-	0.05mg/L	
鉄 (mg/L)	0.30	0.06	0.08	0.22	0.17	5.9	4.8	5.3	4.6	5.2	-	-	
マンガン (mg/L)	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	1.3	1.2	0.92	0.92	1.1	-	-	
ビス-1,2-ジクロロエレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	0.04mg/L	-	
トリス-1,2-ジクロロエレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	-	-	
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	0.034	0.026	0.027	0.033	0.030	0.044	0.059	0.081	0.076	0.065	1pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L	
(参考) EC (mS/m)	28	24	25	38	29	230	220	210	190	210	-	-	

* pg : mgの千倍分の1 (1pg=1,000,000,000分の1mg)

* TEQ : 毒性等量であることをいう。ダイオキシン類には多くの異性体が存在しており、その毒性は異なる。このため、異性体が混合しているダイオキシン類の毒性の強さを評価する上で、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDD(テトラクロロベンゾグアイコシン)に換算した数値。

* 採水方法 : 井戸孔内に長期間滞留した水を置換することを目的として、水中ポンプで井戸の孔内水量の4倍程度汲み上げた後、水質(水温、pH、電気伝導度等)が安定したことを確認してからポンプにて必要量を採取した。

* 分析方法 : 試料をろ過せず、採取時の濁りとともに全量を分析。なお、平成22年度まではベラーで採水を実施していたが、採水時に孔内水が乱れることで井戸の底等に堆積した土壌粒子等が巻き上げられ、採水試料に混入することが避けられなかったため、0.45μmメンブランフィルターによるろ過を行い、そのろ液の分析結果を併せて掲載していたが、平成23年度より水中ポンプで採水を実施することで、土壌粒子等の混入を改善することができるようになったことから全量分析結果のみを掲載している。

* 年間平均値 : 環境基準値に対する評価方法に基づき、検出値が定量下限値未満の場合は定量下限値として扱い、年平均値を求めている。pH、BOD、COD、SS、鉄、マンガン、ECは参考値。

なお、全シアンとアルキル水銀、PCBの年間平均値の値は、全シアンが基準値が最高値により評価されること、アルキル水銀とPCBについてはすべて「検出されないこと」をもって基準達成となるため、それぞれ該当する値を表記し、評価した。

資料 分析結果 (周縁地下水 その3)

周 縁 地 下 水													
調査地点	No. 4-1					No. 4-2							
採取日	H23. 7. 28	H23. 10. 11	H23. 12. 16	H24. 2. 27	年間平均値	H23. 7. 28	H23. 10. 11	H23. 12. 16	H24. 2. 27	年間平均値			
現場測定項目													
気温 (°C)	32.0	19.0	10.0	4.0		28.5	21.0	5.0	2.5				
水温 (°C)	17.4	16.4	15.0	14.7		15.4	16.0	14.7	14.1				
採水深 (m) (GLより)	18.15	18.36	18.59	18.43		13.75	13.75	13.84	14.02				
分析結果												*安定型最終処分場の周縁地下水の基準	地下水環境基準
分析項目	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析		
pH	6.1	6.1	5.9	5.8	6.0	6.4	6.5	6.2	6.2	6.3			
BOD (mg/L)	<0.5	0.8	0.8	<0.5	0.7	<0.5	0.6	<0.5	0.7	0.6	20mg/L		
COD (mg/L)	0.7	<0.5	0.5	<0.5	0.6	0.8	0.5	0.6	<0.5	0.6	40mg/L		
SS (mg/L)	15	5.9	7.3	3.9	8	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	1			
亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素 (mg/L)	—	0.77	—	—	0.77	—	0.60	—	—	0.60	—	10mg/L	
カドミウム (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.01mg/L	0.003mg/L	
鉛 (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	0.01mg/L	0.01mg/L	
六価クロム (mg/L)	—	<0.02	—	—	0.02	—	<0.02	—	—	0.02	0.05mg/L	0.05mg/L	
ぼう素 (mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	—	1mg/L	
全シアン (mg/L)	—	<0.1	—	—	<0.1	—	<0.1	—	—	<0.1	検出されないこと (<0.1mg/L)	検出されないこと (<0.1mg/L)	
ふっ素 (mg/L)	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.08	—	0.8mg/L	
ひ素 (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	0.01mg/L	0.01mg/L	
セレン (mg/L)	—	<0.002	—	—	0.002	—	<0.002	—	—	0.002	0.01mg/L	0.01mg/L	
総水銀 (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	0.0005mg/L	0.0005mg/L	
アルキル水銀 (mg/L)	—	<0.0005	—	—	<0.0005	—	<0.0005	—	—	<0.0005	検出されないこと (<0.0005mg/L)	検出されないこと (<0.0005mg/L)	
PCB (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと (<0.0005mg/L)	検出されないこと (<0.0005mg/L)	
トリクロエレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	0.03mg/L	0.03mg/L	
テトラクロエレン (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	0.01mg/L	0.01mg/L	
1,1-1,1-トリクロエタン (mg/L)	—	<0.002	—	—	0.002	—	<0.002	—	—	0.002	1mg/L	1mg/L	
四塩化炭素 (mg/L)	—	<0.0002	—	—	0.0002	—	<0.0002	—	—	0.0002	0.002mg/L	0.002mg/L	
ジクロロメタン (mg/L)	—	<0.002	—	—	0.002	—	<0.002	—	—	0.002	0.02mg/L	0.02mg/L	
1,2-ジクロロエタン (mg/L)	—	<0.0004	—	—	0.0004	—	<0.0004	—	—	0.0004	0.004mg/L	0.004mg/L	
1,1,2-トリクロエタン (mg/L)	—	<0.0006	—	—	0.0006	—	<0.0006	—	—	0.0006	0.006mg/L	0.006mg/L	
1,1-ジクロロエレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	0.02mg/L	0.1mg/L	
1,2-ジクロロエレン (mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.004	—	0.04mg/L	
1,3-ジクロロプロパン (mg/L)	—	<0.0002	—	—	0.0002	—	<0.0002	—	—	0.0002	0.002mg/L	0.002mg/L	
ベンゼン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.01mg/L	0.01mg/L	
塩化ビニルモノマー (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0002	—	0.002mg/L	
1,4-ジオキサン (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	—	0.05mg/L	
鉄 (mg/L)	0.43	0.20	0.23	0.24	0.28	0.09	0.10	0.17	0.06	0.11	—	—	
マンガン (mg/L)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.04	0.05	0.04	0.02	0.04	—	—	
トリス-1,2-ジクロロエレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	0.04mg/L		
トリス-1,2-ジクロロエレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	—	—	
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	0.037	0.030	0.027	0.033	0.032	0.026	0.026	0.026	0.037	0.029	1pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L	
(参考) EC (mS/m)	18	15	15	13	15	13	14	14	15	14	—	—	

* pg : mgの十億分の1 (1pg=1,000,000,000分の1mg)

* TEQ : 毒性等量であることをいう。ダイオキシン類には多くの異性体が存在しており、その毒性は異なっている。このため、異性体が混合しているダイオキシン類の毒性の強さを評価する上で、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDD(テトラクロロベンゾグダケチン)に換算した数値。

* 採水方法 : 井戸孔内に長期滞留した水を置換することを目的として、水中ポンプで井戸の孔内水量の4倍程度汲み上げた後、水質(水温、pH、電気伝導度等)が安定したことを確認してからポンプにて必要量を採取した。

* 分析方法 : 試料をろ過せず、採取時の濁りとともに全量を分析。なお、平成22年度まではベラーで採水を実施していたが、採水時に孔内水が乱れることで、井戸の底等に堆積した土壌粒子等が巻き上げられ、採水試料に混入することが避けられなかったため、0.45μmメンブランフィルターによるろ過を行い、そのろ液の分析結果を併せて掲載していたが、平成23年度より水中ポンプで採水を実施することで、土壌粒子等の混入ができるようになったことから全量分析結果のみを掲載している。

* 年間平均値 : 環境基準値に対する評価方法に基づき、検出値が定量下限値未満の場合は定量下限値として扱い、年平均値を求めている。pH、BOD、COD、SS、鉄、マンガン、ECは参考値。

なお、全シアンとアルキル水銀、PCBの年間平均値の値は、全シアンが基準値が最高値により評価されること、アルキル水銀とPCBについてはすべて「検出されないこと」をもって基準達成となるため、それぞれ該当する値を表記し、評価した。

資料 分析結果 (周縁地下水 その4)

周 縁 地 下 水					
調査地点	No. 2		No. 3		
採取日	H23. 12. 16	年間平均値	H23. 12. 16	年間平均値	
現場測定項目					
気温 (°C)	5.0		6.0		
水温 (°C)	14.0		19.1		
採水水深 (m) (GLより)	14.00		12.50		
分析結果					
分析項目	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	*安定型最終処分場の周縁地下水の基準 地下水環境基準
pH	6.9	6.9	5.8	5.8	—
BOD (mg/L)	1.1	1.1	1.0	1.0	20mg/L
COD (mg/L)	2.0	2.0	1.6	1.6	40mg/L
SS (mg/L)	45	45	20	20	—
亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素 (mg/L)	—	—	—	—	— 10mg/L
カドミウム (mg/L)	—	—	—	—	0.01mg/L 0.003mg/L
鉛 (mg/L)	—	—	—	—	0.01mg/L 0.01mg/L
六価クロム (mg/L)	—	—	—	—	0.05mg/L 0.05mg/L
ぼう素 (mg/L)	—	—	—	—	— 1mg/L
全シアン (mg/L)	—	—	—	—	検出されないこと (<0.1mg/L)
ふっ素 (mg/L)	—	—	—	—	— 0.8mg/L
ひ素 (mg/L)	0.015	0.015	—	—	0.01mg/L 0.01mg/L
セレン (mg/L)	—	—	—	—	0.01mg/L 0.01mg/L
総水銀 (mg/L)	—	—	—	—	0.0005mg/L 0.0005mg/L
アルキル水銀 (mg/L)	—	—	—	—	検出されないこと (<0.0005mg/L)
PCB (mg/L)	—	—	—	—	検出されないこと (<0.0005mg/L)
トリクロロエレン (mg/L)	—	—	—	—	0.03mg/L 0.03mg/L
テトラクロロエレン (mg/L)	—	—	—	—	0.01mg/L 0.01mg/L
1,1-トリクロロエタン (mg/L)	—	—	—	—	1mg/L 1mg/L
四塩化炭素 (mg/L)	—	—	—	—	0.002mg/L 0.002mg/L
ジクロロメタン (mg/L)	—	—	—	—	0.02mg/L 0.02mg/L
1,2-ジクロロエタン (mg/L)	—	—	—	—	0.004mg/L 0.004mg/L
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	—	—	—	—	0.006mg/L 0.006mg/L
1,1-ジクロロエレン (mg/L)	—	—	—	—	0.02mg/L 0.1mg/L
1,2-ジクロロエレン (mg/L)	—	—	—	—	— 0.04mg/L
1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	—	—	—	—	0.002mg/L 0.002mg/L
ベンゼン (mg/L)	—	—	—	—	0.01mg/L 0.01mg/L
塩化ビニルモノマー (mg/L)	—	—	—	—	— 0.002mg/L
1,4-ジオキサン (mg/L)	—	—	—	—	— 0.05mg/L
鉄 (mg/L)	7.9	7.9	—	—	— —
マンガン (mg/L)	0.28	0.28	—	—	— —
トリス-1,2-ジクロロエレン (mg/L)	—	—	—	—	0.04mg/L —
トリス-1,2-ジクロロエレン (mg/L)	—	—	—	—	— —
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	—	—	1.5	1.5	1pg-TEQ/L 1pg-TEQ/L
(参考) EC (mS/m)	15	15	29	29	— —

* pg : mgの十億分の1 (1pg=1,000,000,000分の1mg)

* TEQ : 毒性等量であることをいう。ダイオキシン類には多くの異性体が存在しており、その毒性は異なっている。このため、異性体が混合しているダイオキシン類の毒性の強さを評価する上で、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDD(トリクロロベンゾダイキシン)に換算した数値。

* 採水方法 : No.2およびNo.3井戸については、井戸の孔径が35mmと水中ポンプを挿入できないことから、ペーラー(採水器)で3回汲み上げた後にペーラーにて必要量採水した。

* 分析方法 : 試料をろ過せず、採取時の濁りとともに全量を分析。

* 年間平均値 : 環境基準値に対する評価方法に基づき、検出値が定量下限値未満の場合は定量下限値として扱い、年平均値を求めている。pH、なお、全シアンとアルキル水銀、PCBの年間平均値の値は、全シアンが基準値が最高値により評価されること、アルキル水銀とPCBについては

資料 分析結果 (場内地下水)

場内地下水													
調査地点	B-3					D-2							
採取日	H23. 7. 28	H23. 10. 11	H23. 12. 16	H24. 2. 27	年間平均値	H23. 7. 28	H23. 10. 11	H23. 12. 16	H24. 2. 27	年間平均値			
現場測定項目													
気温 (°C)	32.0	21.0	6.0	4.0		29.0	25.0	6.0	5.0				
水温 (°C)	26.8	24.6	23.4	22.7		18.2	19.2	16.6	16.7				
採水水深 (m) (GLより)	26.00	26.00	26.00	26.00		26.05	26.05	26.05	26.05				
分析結果												*安定型最終処分場の周縁地下水の基準	地下水環境基準
分析項目	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析			
pH	5.9	6.1	6.0	5.9	6.0	5.5	5.9	5.4	5.5	5.6	-	-	
BOD (mg/L)	<0.5	1.0	1.0	0.9	0.9	<0.5	<0.5	1.2	0.6	0.7	20mg/L	-	
COD (mg/L)	6.0	5.6	5.1	4.4	5.3	0.6	<0.5	1.1	0.6	0.7	40mg/L	-	
SS (mg/L)	4.3	1.2	1.4	14	5	1.0	2.4	7.6	1.0	3	-	-	
亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10mg/L	
カドミウム (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.01mg/L	0.003mg/L	
鉛 (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	0.01mg/L	0.01mg/L	
六価クロム (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05mg/L	0.05mg/L	
ぼう素 (mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	-	1mg/L	
全シアン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと (<0.1mg/L)	検出されないこと (<0.1mg/L)	
ふっ素 (mg/L)	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.08	-	0.8mg/L	
ひ素 (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	0.01mg/L	0.01mg/L	
セレン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01mg/L	0.01mg/L	
総水銀 (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	0.0005mg/L	0.0005mg/L	
アルキル水銀 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと (<0.0005mg/L)	検出されないこと (<0.0005mg/L)	
PCB (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと (<0.0005mg/L)	検出されないこと (<0.0005mg/L)	
トリクロロエレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	0.03mg/L	0.03mg/L	
テトラクロロエレン (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	0.01mg/L	0.01mg/L	
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1mg/L	1mg/L	
四塩化炭素 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002mg/L	0.002mg/L	
ジクロロメタン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02mg/L	0.02mg/L	
1,2-ジクロロエタン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.004mg/L	0.004mg/L	
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.006mg/L	0.006mg/L	
1,1-ジクロロエレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	0.02mg/L	0.1mg/L	
1,2-ジクロロエレン (mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.004	-	0.04mg/L	
1,3-ジクロロプロパン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002mg/L	0.002mg/L	
ベンゼン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.01mg/L	0.01mg/L	
塩化ビフェニル (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0002	-	0.002mg/L	
1,4-ジオキサン (mg/L)	0.006	0.023	0.009	0.006	0.011	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	-	0.05mg/L	
鉄 (mg/L)	4.7	6.6	5.8	5.7	5.7	0.14	0.38	1.2	0.69	0.60	-	-	
マンガン (mg/L)	2.5	3.3	2.8	3.2	3.0	0.12	0.17	0.27	0.26	0.21	-	-	
トリス-1,2-ジクロロエレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	0.04mg/L	-	
トリス-1,2-ジクロロエレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	-	-	
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	0.037	-	-	-	0.037	0.029	-	-	-	0.029	1pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L	
(参考) EC (mS/m)	35	30	29	27	30	16	14	17	18	16	-	-	

* pg : mgの十億分の1 (1pg=1,000,000,000分の1mg)

* TEQ : 毒性等量であるこという。ダイオキシン類には多くの異性体が存在しており、その毒性は異なっている。このため、異性体が混合しているダイオキシン類の毒性の強さを評価する上で、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDD(テトラクロロベンゾ「d」体)に換算した数値。

* 採水方法 : 井戸孔内に長期間滞留した水を置換することを目的として、水中ポンプで井戸の孔内水量の4倍量程度汲み上げた後、水質(水温、pH、電気伝導度等)が安定したことを確認してからポンプにて必要量を採取した。

* 分析方法 : 試料をろ過せず、採取時の濁りとともに全量を分析。なお、平成22年度まではベラーで採水を実施していたが、採水時に孔内水が乱されることで井戸の底等に堆積した土壌粒子等が巻き上げられ、採水試料に混入することが避けられなかったため、0.45µmメンブランフィルターによりろ過を行い、そのろ液の分析結果を併せて掲載していたが、平成23年度より水中ポンプで採水を実施することで、土壌粒子等の混入を改善することができるようになったことから全量分析結果のみを掲載している。

* 年間平均値 : 環境基準値に対する評価方法に基づき、検出値が定量下限値未満の場合は定量下限値として扱い、年平均値を求めている。pH、BOD、COD、SS、鉄、マンガン、ECは参考値。

なお、全シアンとアルキル水銀、PCBの年間平均値欄の値は、全シアンが基準値が最高値により評価されること、アルキル水銀とPCBについてはすべて「検出されないこと」をもって基準達成となるため、それぞれ該当する値を表記し、評価した。

資料 分析結果 (場内浸透水)

場内浸透水													
調査地点	H16-No. 5					A-3							
採取日	H23. 7. 28	H23. 10. 11	H23. 12. 16	H24. 2. 27	年間平均値	H23. 7. 28	H23. 10. 11	H23. 12. 16	H24. 2. 27	年間平均値			
現場測定項目													
気温 (°C)	34.0	24.5	6.5	4.0		31.0	19.0	6.0	3.0				
水温 (°C)	28.8	28.5	27.4	25.3		20.8	19.6	18.3	17.6				
採水水深 (m) (GLより)	21.44	21.67	21.81	21.73		13.89	14.04	14.63	14.67				
分析結果												*安定型最終処分場の周縁地下水の基準	地下水環境基準
分析項目	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析		
pH	7.2	7.2	7.1	7.0	7.1	7.8	7.9	8.1	7.9	7.9			
BOD (mg/L)	5.5	5.0	9.5	3.5	5.9	9.7	18	29	20	19	20mg/L		
COD (mg/L)	38	35	36	25	34	56	50	96	52	64	40mg/L		
SS (mg/L)	4.7	<1.0	<1.0	3.9	3	5.1	29	110	11	39			
亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素 (mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10mg/L
カドミウム (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.01mg/L		0.003mg/L
鉛 (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	0.019	<0.005	0.009	0.01mg/L		0.01mg/L
六価クロム (mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.05mg/L		0.05mg/L
ぼう素 (mg/L)	2.5	2.2	2.5	1.8	2.3	1.5	1.7	1.7	1.7	1.7			1mg/L
全シアン (mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出されないこと (<0.1mg/L)		検出されないこと (<0.1mg/L)
ふっ素 (mg/L)	0.68	0.75	0.84	0.71	0.75	0.25	0.33	0.39	0.37	0.34	—		0.8mg/L
ひ素 (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	0.01mg/L		0.01mg/L
セレン (mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.01mg/L		0.01mg/L
総水銀 (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	0.0005mg/L		0.0005mg/L
アルキル水銀 (mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出されないこと (<0.0005mg/L)		検出されないこと (<0.0005mg/L)
PCB (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと (<0.0005mg/L)		検出されないこと (<0.0005mg/L)
トリクロロエレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	0.03mg/L		0.03mg/L
テトラクロロエレン (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	0.01mg/L		0.01mg/L
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1mg/L		1mg/L
四塩化炭素 (mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.002mg/L		0.002mg/L
ジクロロメタン (mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.02mg/L		0.02mg/L
1,2-ジクロロエタン (mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.004mg/L		0.004mg/L
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.006mg/L		0.006mg/L
1,1-ジクロロエレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	0.02mg/L		0.1mg/L
1,2-ジクロロエレン (mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.004	—		0.04mg/L
1,3-ジクロロプロパン (mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.002mg/L		0.002mg/L
ベンゼン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.002	0.002	<0.001	<0.001	0.002	0.01mg/L		0.01mg/L
塩化ビニルモノマー (mg/L)	0.0003	<0.0002	0.0003	0.0004	0.0003	0.0011	0.0017	0.0019	0.0014	0.0015	—		0.002mg/L
1,4-ジオキサン (mg/L)	0.13	0.24	0.17	0.075	0.15	0.022	0.038	0.017	0.010	0.022	—		0.05mg/L
鉄 (mg/L)	1.1	0.28	0.21	1.4	0.75	0.41	1.3	4.6	0.69	1.8	—		—
マンガン (mg/L)	0.14	0.11	0.06	0.17	0.12	0.06	0.08	0.11	0.05	0.08	—		—
トリス-1,2-ジクロロエレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	0.04mg/L		—
トリス-1,2-ジクロロエレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	—		—
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	0.13	—	—	—	0.13	0.60	—	—	—	0.60	1pg-TEQ/L		1pg-TEQ/L
(参考) EC (mS/m)	260	190	180	170	200	200	180	150	180	180	—		—

* pg : mgの十億分の1 (1pg=1,000,000,000分の1mg)

* TEQ : 毒性等量であることをいう。ダイオキシン類には多くの異性体が存在しており、その毒性は異なっている。このため、異性体が混合しているダイオキシン類の毒性の強さを評価する上で、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDD(テトラクロロジベンゾダイキシン)に換算した数値。

* 採水方法 : 井戸孔内に長期間滞留した水を置換することを目的として、水中ポンプで井戸の孔内水量の4倍程度汲み上げた後、水質(水温、pH、電気伝導度等)が安定したことを確認してからポンプにて必要量を採取した。

* 分析方法 : 試料をろ過せず、採取時の濁りとともに全量を分析。なお、平成22年度まではベラーで採水を実施していたが、採水時に孔内水が乱されることで井戸の底等に堆積した土壌粒子等が巻き上げられ、採水試料に混入することが避けられなかったため、0.45µmメンブレンフィルターによるろ過を行い、そのろ液の分析結果を併せて掲載していたが、平成23年度より水中ポンプで採水を実施することで、土壌粒子等の混入を改善することができるようになったことから全量分析結果のみを掲載している。

* 年間平均値 : 環境基準値に対する評価方法に基づき、検出値が定量下限値未満の場合は定量下限値として扱い、年平均値を求めている。pH、BOD、COD、SS、鉄、マンガン、ECは参考値。

なお、全シアンとアルキル水銀、PCBの年間平均値欄の値は、全シアンが基準値が最高値により評価されること、アルキル水銀とPCBについてはすべて「検出されないこと」をもって基準達成となるため、それぞれ該当する値を表記し、評価した。

資料 分析結果（下流地下水）

下流地下水													
調査地点	No. K-1					市No. 3			市No. 7				
採取日	H23. 7. 28	H23. 10. 11	H23. 12. 16	H24. 2. 27	年間平均値	H23. 7. 28	H23. 12. 16	年間平均値	H23. 7. 28	H23. 12. 16	年間平均値		
現場測定項目													
気温 (°C)	30.0	24.0	6.0	2.0		29.0	5.5		28.0	6.0			
水温 (°C)	17.7	16.4	14.2	13.6		16.1	13.7		16.8	13.7			
採水水深 (m) (GLより)	-	-	-	-		-	-		-	-			
分析結果												* 安定型最終処分場の周縁地下水の基準	地下水環境基準
分析項目	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析		
pH	5.4	5.5	5.3	5.5	5.4	6.3	6.3	6.3	6.6	6.6	6.6	-	-
BOD (mg/L)	2.4	1.5	1.7	0.9	1.6	0.6	2.0	1.3	1.6	1.8	1.7	20mg/L	
COD (mg/L)	9.3	11	9.8	9.4	9.9	10	9.9	10	15	8.7	12	40mg/L	
SS (mg/L)	14	52	95	43	51	<1.0	1.2	1	44	16	30	-	-
亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素 (mg/L)	-	<0.01	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	10mg/L
カドミウム (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.01mg/L	0.003mg/L
鉛 (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	0.005	0.009	<0.005	0.007	0.01mg/L	0.01mg/L
六価クロム (mg/L)	-	<0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	0.05mg/L	0.05mg/L
ほう素 (mg/L)	<0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.9	1.0	1.0	1.3	1.3	1.3	-	1mg/L
全シアン (mg/L)	-	<0.1	-	-	<0.1	-	-	-	-	-	-	検出されないこと (<0.1mg/L)	検出されないこと (<0.1mg/L)
ふっ素 (mg/L)	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.08	<0.08	<0.08	0.08	<0.08	<0.08	0.08	-	0.8mg/L
ひ素 (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	0.005	0.01mg/L	0.01mg/L
セレン (mg/L)	-	<0.002	-	-	0.002	-	-	-	-	-	-	0.01mg/L	0.01mg/L
総水銀 (mg/L)	<0.0005	0.0007	0.0016	0.0009	0.0009	0.0006	0.0005	0.0006	<0.0005	<0.0005	0.0005	0.0005mg/L	0.0005mg/L
アルキル水銀 (mg/L)	-	<0.0005	-	-	<0.0005	-	-	-	-	-	-	検出されないこと (<0.0005mg/L)	検出されないこと (<0.0005mg/L)
PCB (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと (<0.0005mg/L)	検出されないこと (<0.0005mg/L)
トリクロロエチレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	0.002	0.03mg/L	0.03mg/L
テトラクロロエチレン (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	0.01mg/L	0.01mg/L
1,1-トリクロロエタン (mg/L)	-	<0.002	-	-	0.002	-	-	-	-	-	-	1mg/L	1mg/L
四塩化炭素 (mg/L)	-	<0.0002	-	-	0.0002	-	-	-	-	-	-	0.002mg/L	0.002mg/L
ジクロロメタン (mg/L)	-	<0.002	-	-	0.002	-	-	-	-	-	-	0.02mg/L	0.02mg/L
1,2-ジクロロエタン (mg/L)	-	<0.0004	-	-	0.0004	-	-	-	-	-	-	0.004mg/L	0.004mg/L
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	-	<0.0006	-	-	0.0006	-	-	-	-	-	-	0.006mg/L	0.006mg/L
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	0.002	0.02mg/L	0.1mg/L
1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	0.009	0.006	<0.004	0.005	0.006	0.005	<0.004	0.004	<0.004	<0.004	0.004	-	0.04mg/L
1,3-ジクロロプロパン (mg/L)	-	<0.0002	-	-	0.0002	-	-	-	-	-	-	0.002mg/L	0.002mg/L
ベンゼン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.01mg/L	0.01mg/L
塩化ビニルモノマー (mg/L)	0.0037	0.0022	0.0036	0.0032	0.0032	0.0022	0.0029	0.0026	0.0005	0.0003	0.0004	-	0.002mg/L
1,4-ジオキサン (mg/L)	0.065	0.14	0.059	0.042	0.077	0.065	0.048	0.057	0.041	0.031	0.036	-	0.05mg/L
鉄 (mg/L)	14	18	20	19	18	9.0	14	12	18	8.5	13	-	-
マンガン (mg/L)	0.68	0.87	0.82	0.85	0.81	0.24	0.24	0.24	0.30	0.27	0.29	-	-
トリス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	0.007	0.004	<0.002	0.003	0.004	0.003	<0.002	0.003	<0.002	<0.002	0.002	0.04mg/L	
トリス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	0.002	-	-
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	0.034	0.12	0.12	0.058	0.083	0.029	0.035	0.032	0.047	0.031	0.039	1pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L
(参考) EC (mS/m)	82	80	74	73	77	120	100	110	120	100	110	-	-

* pg : mgの十億分の1 (1pg=1,000,000,000分の1mg)

* TEQ : 毒性等量であることをいう。ダイオキシン類には多くの異性体が存在しており、その毒性は異なっている。このため、異性体が混合しているダイオキシン類の毒性の強さを評価する上で、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDD(テトラクロロベンゾジ(ア)チン)に換算した数値。

* 採水方法 : 自噴井戸であることから、吐出量を約3L/minとして、滞留水量の約4倍量を吐出してから、蛇口より直接、必要量を採取した。

* 分析方法 : 試料をろ過せず、採取時の濁りとともに全量を分析。なお、平成22年度まではペーラーで採水を実施していたが、採水時に孔内水が乱されることで井戸の底等に堆積した土壌粒子等が巻き上げられ、採水試料に混入することが避けられなかったため、0.45μmメンブランフィルターによりろ過を行い、そのろ液の分析結果を併せて掲載していたが、平成23年度より水中ポンプで採水を実施することで、土壌粒子等の混入ができるようになったことから全量分析結果のみを掲載している。

* 年間平均値 : 環境基準値に対する評価方法に基づき、検出値が定量下限値未満の場合は定量下限値として扱い、年平均値を求めている。pH、BOD、COD、SS、鉄、マンガン、ECは参考値。